

## 万利乃寿満子さん

浅田 敏（地球物理）

万利乃さんは今から37年前に地球物理学教室にこられました。ですから教室の誰よりもふるくから居られたわけです。当時はいつも和服を着て居たそうです。はじめは河角先生の部屋で数値計算をして居られました。朝9時から昼休を除いて夕方5時すぎまでタイガー計算機の音をきいてくらししていたわけです。

入試の時には受験生を口答試問の室に1人ずつよび出す役もしていました。したがって、今地物教室にいるふるい人達は大てい彼女によび出されたわけです。

しかし万利乃さんは受験生をよび出すのが仕事ではなく、本当は名のおった歌人なのです。歌集もいく冊か出されており、有名な賞ももらって居られます。

今は川崎市郊外に居をかまえられ、百人のうたのお弟子さんの相手をして居られます。万利乃さんの本領が発揮されるのは、むしろ定年後の人生でしょう。万利乃さんは、又水泳の名手で二食の下のプールで1時間およぎつづけるのはなんでもなかったのです。これからも益々お元気にすごしになれることと思います。